



松田美恵さんの絵

第393回例会 1967.3.7(火)小雪

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや (2) 0707・2838番

事務所 鶴岡市市場町十日町口 商工会議所内 (2) 5775番

EBTTER WORLD THROUGH ROTARY

(ロータリーでより良き世界を)

出席報告

本日の出席	会員数	57名
	出席数	48名
	出席率	84.21%
前回の出席	前回出席率	75.44%
	修正出席数	49名
	確定出席率	85.96%
欠席者	荒明君、八丁目君、金井君、三井(健)君、佐藤(仁)君、手塚君、菅原君、佐藤(寅)君、佐藤(忠)君	

スピーチ

千葉君一酒田RC
林君一東京西RC
五十嵐(三)君一新庄RC
三浦君、男網君、大野君一鶴岡西RC

ヒジター

五十嵐卓三君一鶴岡西RC

ゲスト

アイリン君、庄司繁太郎君

ソング

君が代、奉仕の理想 リーダー 安藤君

司会

会長 早坂源四郎君

連絡事項

- 鶴岡西高校の第1回インターアクトの例会を3月4日開催されました。
 1. 卒業記念の奉仕として、校内の清掃
 2. 植樹の計画
 3. オーストラリアのリンゼ・ブラウンさんに感謝の手紙
- インターシター、ゼネラルフォーラムの開催
期日 4月2日 秋田
出席義務者 会長、幹事、四大奉仕委員長、並び各員の出席も歓迎致します。

卓話

42年の経済雑感

新野 武君

(前号に続く)

- 一方このような企業倒産続出の事態を重視して、政府もその対策に乗り出しておるわけで関係当局は色々対策を練って着々と実行に移しておるわけでありませう。既に出されたところの内容の重だつたものを参考に申し上げます。
 - ① 政府系中小企融3機関(即ち国民金融公庫、中小企業金融公庫、商工中金)等の昨年末からかけての貸出枠の大巾拡大と、去る1月からの金利の引下げが漸行されております。
 - ② 中小企業信用保険臨時措置法に基づいて倒産関連保険の弾力的運用及び倒産関連保険と、無担保保険の恒久化のための法律の改正等が出されている。
 - ③ 下請代金の支払遅延防止についての通産大臣、公取委員長の名の通達が出されている。
 - ④ 下請など関連中小企業者の債権について、優先弁済の道を開くことをねらって、会社更生法の改正案などが次々に実施が予定されております。
- 更に去る12月上旬には通産、中小企業庁は長官名の通達を出して、中小企業の倒産防止について、各都道府県、地方通産局、政府系中小企業3機関、全国銀行協会などに対して、金融、受託の斡旋、下請代金の支払促進など各方面の協力を得るよう強く要請して、統括団体に対し、下請代金の支払期間を120日以内に短縮するように通達が出されております。
- 話は別になりますが、去る2月26日付の山新2面の経済欄にも大きな見出しでの上記の通りでしたが、東京商工興信所の25日の発表によりますと、負債1千万円以上の企業倒産は2月の1か月間に734件となった、初めて7百台の大口を越える戦後最高となった、という記事であります。

- この大きな原因としては季節的に商取引が減少する時期に加えて、年末に振出した手形の決済期でもあるため業績不振の企業が、ここへきて、いよいよ持ちこたえられなくなって、このような倒産続発となったものようであります。
- 原因別では、矢張り融通手形操作の失敗などの連鎖倒産が相変わらず多くなっておりまして、売上不振とか、売掛金の回収困難とか、或は、高利の金融等であり、以上が大体全体の6割を占めていることは、一昨年も昨年も同じ傾向であります。
- もう一つ、ここで私ども非常に注目しているのは、コスト商、それから採算悪化の問題です。いわゆる、原料高の製品安というヤツです。
- ある程度景気が全体的に立ち直ってはおります。けれども、そうした構造的な問題のウェイトは逆にふえているのでありまして、融手の問題なんか非常にふえているのですが、融手とか、あるいは高利金融に走ったのは、その前に、何か事情があって、これをカバーするためにやった。こういうことは、一種の現象面に近いわけです。だから、高利操作なり、融手操作のもう一つ奥を突っ込んでいくと、こういう問題があるのじゃないかという感じがする訳であります。
- 又一面には、何回も申し上げましたとおり景気動向とは、余り関係なく、これ迄の弱体企業が、自然淘汰的に整理されていくという傾向は、とりも直さず、企業格差の拡大が進行していることをはっきり示しているものだ、と見られるのではないかと思います。
- 企業倒産の中には悪質な計画倒産というようなこともあって、これは県内各地にも昨年あたりは新聞紙上に相当みられたのでありますが、これは詐欺は勿論、刑法で処罰されますけれども、すれすれの線でやられるには処置なしでこれは経営者のモラルの問題でしょうけれども今は、経営と資本が分離していますから。
- 昔は企業経営がつぶれてしまえば、経営者も素っ裸になってしまう。今は、株式会社がつぶれても、社長はご安泰、役員は安泰というふうになってもおるのでこれは商法上の問題。株式会社法の問題だと思っております。
- 弱い企業はどうしても、資金調達あるいは資本力、販売力、あるいは人的構成の面で敗北せざるを得ないということが、いわゆる企業体内の隘路であって、そういう面からものを考えていった方がいいのじゃないかと思うのであります。
- 放漫経営で融通手形の乱発に陥った。しかしこの融手の問題にしても、その時点になぜ融手を出したかという問題に焦点があるので業績不振とか、赤字経営をペイするためになんとかしなければいかぬということで安易に融通手形を出すというところに、問題がある訳であります。
- ここで倒産防止に、なにか妙手はないものかということで、吾々が考えてみましても結局はこの特効薬には金しかない……。しかし、資金調達といっても簡単にできるものじゃないし、資金調達に叶うだけの実勢力をもたなければ、どうにもならないというのが、現状の悩みということだろうと思います。
- 景気がいい時には、経営者は波に乗っていけばよろし

いのですが、ひと度景気が悪くなると、その時こそ経営者の手腕、真価を問われるということになる訳で最近のように金融も緩和しているというに尚且つ倒産現象が後を絶たないという事態こそ、政治的にも問題が深いのではないかと考えられる次第です。

- なにはともあれ経営者は一旦緩急の非常時にこそ、最大の勇気があるのであって、それとは又逆に意欲をなくすという問題もあって、**「やる気をなくす」**これ位また仕末の悪い問題はありませぬ。これは非常に困ることでどうにもしようがなくなるというものであります。
- このような事態にならぬうちに、不断から自己資本の充実、内部保留の充実によって金融費等の節減には、尤も留意しなければならぬと思ひますし、昔から、言い古された言葉ではありませんが、**「やっばり結論は人物」**だと存じます。事業は人なりです。
- 放漫経営とか、企業体内の経営者の不手際によって倒産したのは別としてもその他の、いわゆる外部要因とか或は構造的な変化によって起る、いろいろな問題点から発生する倒産を防止しなければならぬということは、先にも申し上げました通り、政府もやってきている訳で、下請代金の支払遅延防止法とか或は金融機関の、歩積、両建、預金の改善とかそういう点では既に手を打っているのですが、根本的には何百万とある中小企業の全部が、これは中小企業のみならず中規模、大規模の企業も含めてですがその全部が脱落しないで、現状のままに日本が、自由競争の体制下には入れるかどうか、これは大きな疑問だと思ひます。
- 差し当りは当面の問題を取り上げて、一応それに対する改善策をとっていただくだろうが、しかし、根本的に改善策があるかどうかと言われると、これは仲々に難しい問題ではないでしょうか。この辺で終らしていただきます。

3月誕生祝

荒明勝君、五十嵐伊市郎君、大野武夫君、斎藤栄作君、佐藤仁太郎君、佐藤昇君、佐藤寅之助君、佐藤忠君、斎藤信儀君 9名

奥様誕生

五十嵐甲(伊市郎)、嶺岸豊子、斎藤貢(栄作) 辻豊子 4名

2月100%出席者 39名

阿部(公)君、安藤君、阿部(襄)君、張君、早坂君、林君、平田君、本間君、石井君、石黒君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、五十嵐(一)君、海東君、加藤君、小花君、小池君、今間君、嶺岸君、三井君、三浦君、三井(賢)君、中台君、男網君、中山君、新野君、斎藤(得)君、佐藤(伊)君、佐藤(昇)君、鈴木(善)君、新徳君、笹原君、鈴木(弥)君、佐藤(忠)君 手塚君、津田君、鷺田君、藪田君、千葉君

幹事報告

○チャーターナイト

国分寺RC 5.14(日) 国分寺立第二中学校
金木RC(青森県) 5.28(日) 金木中
珠洲RC(石川県) 5.21(日)

珠洲市飯田町春日中

○会報到着 米沢RC

スマイル
献立

林君、鶴高専に待望の化学科増設内定
ランチ盛合せ、スーブ